

2014. 3. 23 聖別会

IMMANUEL

インマヌエル
中目黒キリスト教会
聖別会マンスリー



2014年

グレイトハウス著「主が聖であられるように」

XV. ヘブル書の聖化③「救いから聖化へ」

テキスト：

「すべての人との平和を追い求め、また、聖められることを追い求めなさい。聖くなければ、だれも主を見ることができません。」
(ヘブル 12 : 14)

はじめに：「救いから聖化へ」が5-13章の中心的テーマ

A. 聖化を保証する大祭司キリスト

1. 祭司としてのキリストの性質

- ・祭司メルキゼデクは、メシヤの型である (5:6、詩篇 110:4) メルキゼデクは：
 - ①「義の王」「平和の王」であった(7:1)
 - ②系図のない永遠的な存在である(7:3)
 - ③レビの家系外から出ている(7:10-11)
- ・キリストはメルキゼデクに等しい祭司である
 - ② その苦難によって(5:8-10)
 - ②永遠に生きて救いを与えるお方として(7:23-25)

2. 祭司としてのキリストの有効性

- ・主は完全な祭司として、完全な生贄(自分の命)を捧げ、完全な救いを全うされた(10:14)。
- ・その救いは、外面的なものではなく、内的聖化を齎すものである(9:13-14)。

B. 新しい契約（聖化の意味）

1. 古い祭司制度がキリストによる新しい祭司に、一時的ないけにえ制度がキリストによる一度で完全な生贄に取って代わられたように、古い契約（旧約）は新しい契約（新約）に取って代わられた（8:6-8）。
2. 新しい契約は、エレミヤによって予言されていた（10:15-18、エレミヤ 31:33-34）。
3. 新契約は、以下の3つの要素で成り立つ：
 - ①律法が心の中に植えられる（ローマ 8:1-17）
 - ②個人経験として神を知る（ローマ 8:16）
 - ③罪が永遠に滅ぼされる（9:13-14）

C. 聖化の命令（ホーリネスの追求）

1. 「聖められることを追い求めなさい。」（12:14）との言葉は、きよめが神の賜物であるだけでなく、私たちの追求の対象であることを示す。
2. 14節だけではなく、12章全体がホーリネスへの追求を勧めている。
 - ・ 私たちに纏わりつく罪を（それがどのような姿を現わそうとも、全面的な服従と信仰の行為によって）速やかに捨てよ（12:1）
 - ・ 信仰の完成者なるイエスに目を置き続けよ（12:2）。
 - ・ 神のホーリネスに与かるために苦難に耐えよ（12:10）。神に従う道を歩むと、迫害や追放を受けることもある。そうした苦難も、私たちを鍛錬する道である。それを通して、神のホーリネスの幾分か私たちが命に反映される（12:11）。